

平成30年度アジア学術セミナー 実施報告書

平成31年 3月27日

1 委託事業・セミナー名

(和文) JSPS-DST アジア学術セミナー: インド半島の太古代から現在に至る地殻進化を紐解く地球化学・年代学・地質学的アプローチ

(英文) JSPS-DST Japan-India Forum for Advanced Study: Progress and perspective of the studies on the crustal evolution of the Indian Peninsula from Archean to the present by geochemical, chronological and geological approaches

2 セミナーの目的

構造地質学、鉱物学、年代学、堆積学、古環境学の視点から個々にとらえてきたインド半島における様々な地球科学研究において、これまで異なるアプローチを試みてきた研究グループが有機的に連携することにより、大陸地殻形成・進化過程に関する統合的な理解を深めるとともに現在未解決の問題点を明確にする。問題解決のための対処法と新たな研究課題について議論し、今後の研究の発展のための新しい研究ネットワークを構築し、日印間の地球科学分野の連携強化を目指す。

3 開催期間

平成31年 3月 7日 ~ 平成31年 3月16日 10日間

4 開催地(会場)

名古屋大学(3月7~10日)、国立極地研究所(3月12日)、新潟大学(3月14~16日)

名古屋大学から国立極地研究所への移動ならびに国立極地研究所から新潟大学への移動の間の各一日において、富士山周辺(3月11日)ならびに長瀬周辺(3月13日)における地質巡検を実施。

5 開催体制

(1) 実施機関

日本側	独立行政法人日本学術振興会 (JSPS)
	名古屋大学、国立極地研究所、新潟大学
インド側	インド科学技術庁 (DST)
	デリー大学、プレジデンシー大学

(2) 開催責任者

1) 日本側 組織委員長所属機関・職・氏名 名古屋大学大学院環境学研究科・教授・日高 洋
機関所在地・電話等 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
TEL 052-789-3829
FAX 052-789-3033
Email hidaka@eps.nagoya-u.ac.jp

実施責任者所属機関・職・氏名 新潟大学大学院自然科学研究科・教授・Satish-Kumar, Madhusoodhan
機関所在地・電話等 〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2-8050
TEL 025-262-6327
FAX 025-262-6194
Email satish@geo.sc.niigata-u.ac.jp

連絡担当者所属機関・職・氏名 名古屋大学大学院環境学研究科研究支援係・係長・福島慎吾
機関所在地・電話等 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
TEL 052-789-6423
FAX 052-789-3452
Email fukusima.singo@adm.nagoya-u.ac.jp

2) インド側 実施責任者所属機関・職・氏名 University of Delhi・Professor・Chakraborty, Partha Pratim
機関所在地・電話等 〒110007 Delhi, University of Delhi, Department of Geology
TEL +91-9958372502
FAX +91-(0)1127666295
Email parthageology@gmail.com

6 運営体制・方法、組織委員会について

日本側代表委員：日高 洋（名古屋大学）、M. Satish-Kmar（新潟大学）、外田智千（国立極地研究所）

インド側代表委員：Sankar Bose（Presidency University）、Partha Chakraborty（Univ. of Delhi）、H.P. Singh（Univ. of Delhi）

組織委員会事務局：名古屋大学大学院環境学研究科研究支援係

日本側組織委員：Das Kaushik（広島大学）、吉田孝紀（信州大学）

インド側組織委員：Krishnan Sajeew（Indian Institute of Science, Bangalore）、Balakrishnan Srinivasan（Pondicherry University）、Kumar Das Supriyo（Presidency University）

名古屋大学大学院環境学研究科研究支援係に事務局を設け、各種事務手続きを実施した。

7 日程及び議題（別添でも可）

別添

8 参加者について

(1) 参加者数

	講師数	受講者数	合計
日本側からの参加者数	16	27	43
（うち、本事業経費による参加者 ^[注] ）	11	11	22
インド側からの参加者数	10	11	21
（うち、本事業経費による参加者 ^[注] ）	10	9	19
その他の国からの参加数	8	5	13
（うち、本事業経費による参加者 ^[注] ）	8	1	9
合計	34	43	77
（うち、本事業経費による参加者 ^[注] ）	29	21	50

[注]オブザーバーとして参加する者は、本事業経費による参加者とはなりません。

(2) 講師について

1) 講師の選出方法

日本ならびにインドの組織委員会委員が各々で本セミナーの趣旨に合致した候補者を推薦し、その後、メール審議による協議のうえ、講師を選出した。

2) 講師リスト

姓	名	職名	所属機関	所属国名 ¹⁾	備考 ²⁾
(日本側講師)					
日高	洋	教授	名古屋大学	日本	*
Satish Kumar	Madhusoodhan	教授	新潟大学	日本	*
外田	智千	准教授	国立極地研究所	日本	*
吉田	孝紀	教授	信州大学	日本	*
Das	Kaushik	准教授	広島大学	日本	*
早坂	康隆	准教授	広島大学	日本	*
白石	史人	助教	広島大学	日本	*
酒井	哲弥	教授	島根大学	日本	*
Sahoo	Sarata Kumar	上席研究員	国立放射線医学総合研究所	日本	*
白石	和行	名誉教授	国立極地研究所	日本	*
河上	哲生	准教授	京都大学	日本	*
飯塚	毅	准教授	東京大学	日本	
上野	雄一郎	教授	東京工業大学	日本	
角替	敏昭	教授	筑波大学	日本	
高澤	栄一	教授	新潟大学	日本	
青山	慎之介	助教	新潟大学	日本	

(インド側講師)					
Balakrishnan	Srinivasan	教授	ポンディチェリー大学	インド	*
Bose	Sankar	教授	プレジデンシー大学	インド	*
Chakrabarti	Ramananda	准教授	インド理科大学院バンガロール校	インド	*
Chakraborty	Partha	教授	デリー大学	インド	*
Das	Supriyo Kumar	助教	プレジデンシー大学	インド	*
Jayananda	Mudlappa	教授	ハイデラバード大学	インド	*
Rajesh	VJ	准教授	インド宇宙科学大学院	インド	*
Sajeev	Krishnan	准教授	インド理科大学院バンガロール校	インド	*
Sarbadhikari	Amit Basu	准教授	物理研究所	インド	*
Singh	Harinder Pal	教授	デリー大学	インド	*
(その他講師)					
Williams	Ian	教授	オーストラリア国立大学	オーストラリア	*
Nutman	Allen	教授	ウーロンゴン大学	オーストラリア	*
Cheong	Chang-sik	教授	韓国基礎科学研究所	韓国	*
Fitzsimons	Ian	教授	カーティン大学	オーストラリア	*
Connolly	James	教授	スイス連邦工科大学	スイス	*
Cesare	Bernardo	教授	パドヴァ大学	イタリア	*
McDonough	William	教授	メリーランド大学	米国	*
Oh	Chang Whan	教授	忠北大学	韓国	*

¹⁾ 参加者が所属する機関の所在国を記入してください

²⁾ 本セミナー経費にて参加される方については、備考欄に「*」を記入してください。オブザーバーとして参加される方については「オブザーバー」と記入してください。(この場合、本事業経費対象外となりますのでご注意ください。)

(3) 受講者について

1) 受講者の募集・選考方法

各大学・研究所等および日本学術振興会のホームページに募集案内を掲載し、受講者の募集を呼びかけるとともに日本ならびにインドの組織委員会委員による推薦を募り、候補者の中から組織委員会委員が協議のうえ選抜した。

2) 受講者リスト

姓	名	職名	所属機関	所属国名 ¹⁾	備考 ²⁾
(日本側受講者)					
佐久間	圭佑	大学院生	名古屋大学	日本	*
川口	健太	大学院生	広島大学	日本	*
Guotana	J. M. R.	大学院生	金沢大学	日本	*
板野	敬太	大学院生	東京大学	日本	*
中嶋	徹	大学院生	京都大学	日本	*
Lalit Kumar	Rai	大学院生	信州大学	日本	*
Silpa	A. S.	大学院生	新潟大学	日本	*
Sreehari	Lakshmanan	大学院生	新潟大学	日本	*
中村	佳博	研究員	産業技術総合研究所	日本	*
竹原	真美	博士研究員	国立極地研究所	日本	*
Rajamanickam	Murugan	博士研究員	国立放射線医学総合研究所	日本	*
(インド側受講者)					
Banerjee	Anupam	博士研究員	インド理科大学院バンガロール校	インド	*
Ganguly	Proloy	大学院生	プレジデンシー大学	インド	*
Rai	Swapnil Kumar	大学院生	ベナラズヒンズー大学	インド	*
Sharma	Aditi	大学院生	デリー大学	インド	*
	M. Azhar Ul Haq	大学院生	ポンディチェリー大学	インド	*
Reddy	D. Harinadha	博士研究員	インド理科大学院バンガロール校	インド	*
Barkat	Rasikh	大学院生	デリー大学	インド	*
Chatterjee	Subham	大学院生	プレジデンシー大学	インド	*
Goyal	Vishal	大学院生	パンジャブ大学	インド	*
(その他受講者)					
	Durgalakshmi	大学院生	オーストラリア国立大学	オーストラリア	*
Chatterjee	Chiranjeeb	博士研究員	インド理科大学院バンガロール校	インド	
Nambaje	Claude	博士研究員	インド理科大学院バンガロール校	インド	
堀江	憲路	助教	国立極地研究所	日本	
Andrade	Vanessa	特任助教	新潟大学	日本	
Uthup	Sam	大学院生	筑波大学	日本	
Xue	Fei	大学院生	筑波大学	日本	
Dandar	Otgonbayar	大学院生	東北大学	日本	
Mindaleva	Diana	大学院生	東北大学	日本	
Nurdiana	Austin	大学院生	東北大学	日本	
鈴木	康太	大学院生	京都大学	日本	
鈴木	敬介	大学院生	新潟大学	日本	

山田	来樹	大学院生	新潟大学	日本	
幸田	龍星	大学院生	新潟大学	日本	
渡邊	駿	大学院生	新潟大学	日本	
Athira	Pendanath Gopina	大学院生	新潟大学	日本	
井村	朱里	学部生	新潟大学	日本	
齊藤	天晴	大学院生	名古屋大学	日本	
原田	晃	大学院生	名古屋大学	日本	
Samuel	Ommen Vinod	博士研究員	延世大学	韓国	
Lee	Bo Young	大学院生	忠北大学	韓国	
Kim	Wonjeong	大学院生	忠北大学	韓国	
Jeong	Ji Wan	大学院生	忠北大学	韓国	

¹⁾ 参加者が所属する機関の所在国を記入してください

²⁾ 本セミナー経費にて参加される方については、備考欄に「*」を記入してください。

9 本セミナーで得られた成果

(1) 学術的な観点からの成果について

インド大陸の地質には大陸形成初期から現在に至るまでの地殻進化の素過程を知る情報が記録されていると考えられる地域があり、これらの地殻進化は生物圏・大気圏・水圏と深く相互作用を起こしている複雑系であるため、その理解は単純ではない。本セミナーでは地球科学の研究分野において専門の異なる研究グループが集まり、細分化されることなく、統合的な観点から詳細にこれまでの研究を紹介することで、理解を深め、複雑に絡み合った素過程を解明するヒントを模索するとともに現在未解決の問題点のうちのいくつかについて明確にすることができた。さらに、問題解決のための対処法と可能性について議論を重ねることで、今後の研究方針と新たな研究課題についての計画案なども具体的に提示することができた。これらの研究課題に取り組むために、今後、少なくとも本セミナーに参加した日印における研究機関の間で新しいネットワークを構築し、地球科学分野の連携強化につながることを期待できる。

(2) 国際交流及び若手研究者育成の観点からの成果について

本セミナーを通し、インドの地質環境について現時点でどのような理解がなされ、どのような問題点をかかえているかを明確にとらえることができ、若手研究者の研究意欲を高めることに貢献できたと考えられる。本セミナーに出席する若手研究者には、広角的な視野をもって今後の研究課題を考える場として積極的に議論に参加してもらうことができ、また自身のキャリア形成を考えるための具体的なプラットフォームを構築する場となりえるよう本セミナー全体のテーマの中での自己の研究の位置づけを互いに認識できていたように思える。